【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第７区分
【発行日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【公開番号】特開2008-280137(P2008-280137A)
【公開日】平成20年11月20日(2008.11.20)
【年通号数】公開・登録公報2008-046
【出願番号】特願2007-125718(P2007-125718)
【国際特許分類】
Ｂ６６Ｂ　7/00　(2006.01)
Ｂ６６Ｂ　7/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６６Ｂ　7/00　K
Ｂ６６Ｂ　7/06　A

【手続補正書】
【提出日】平成21年9月14日(2009.9.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
懸架されたエレベータの複数本のロープを取り替える際に用いられるロープ取替用治具において、
垂下された状態の第１のロープに案内される案内部と、
取替用で垂下される第２のロープの端部を保持する保持部と、
前記案内部と前記保持部とを連結した連結部とを備え、
前記保持部は、前記第１のロープを挟む一対のローラを有し、
前記第１のロープと前記第２のロープの端部との距離を一定に保ちながら、前記第１のロープに沿って移動することを特徴とするロープ取替用治具。
【請求項２】
前記第１のロープの中心から、前記案内部の反保持部側端部または前記保持部の反案内部側端部の何れか一方までの距離が、前記第１のロープの中心から隣接した前記第１のロープの外周面までの距離より大きく形成されたことを特徴とする請求項１に記載のロープ取替用治具。
【請求項３】
前記保持部は、前記第２のロープを回転自在に保持し、かつ、前記第２のロープの先端部に設けられた錘と、前記第２のロープの前記保持部の反錘側に設けられたストッパとにより、前記第２のロープの軸線方向に沿った移動が規制されることを特徴とする請求項１または請求項２に記載のロープ取替用治具。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
この発明に係るロープ取替用治具は、懸架されたエレベータの複数本のロープを取り替える際に用いられるロープ取替用治具において、垂下された状態の第１のロープに案内さ

れる案内部と、取替用で垂下される第２のロープの端部を保持する保持部と、前記案内部と前記保持部とを連結した連結部とを備え、前記保持部は、前記第１のロープを挟む一対のローラを有し、前記第１のロープと前記第２のロープの端部との距離を一定に保ちながら、前記第１のロープに沿って移動する。